



S A M P O

Portfolio

01

About



About SAMPO Inc.

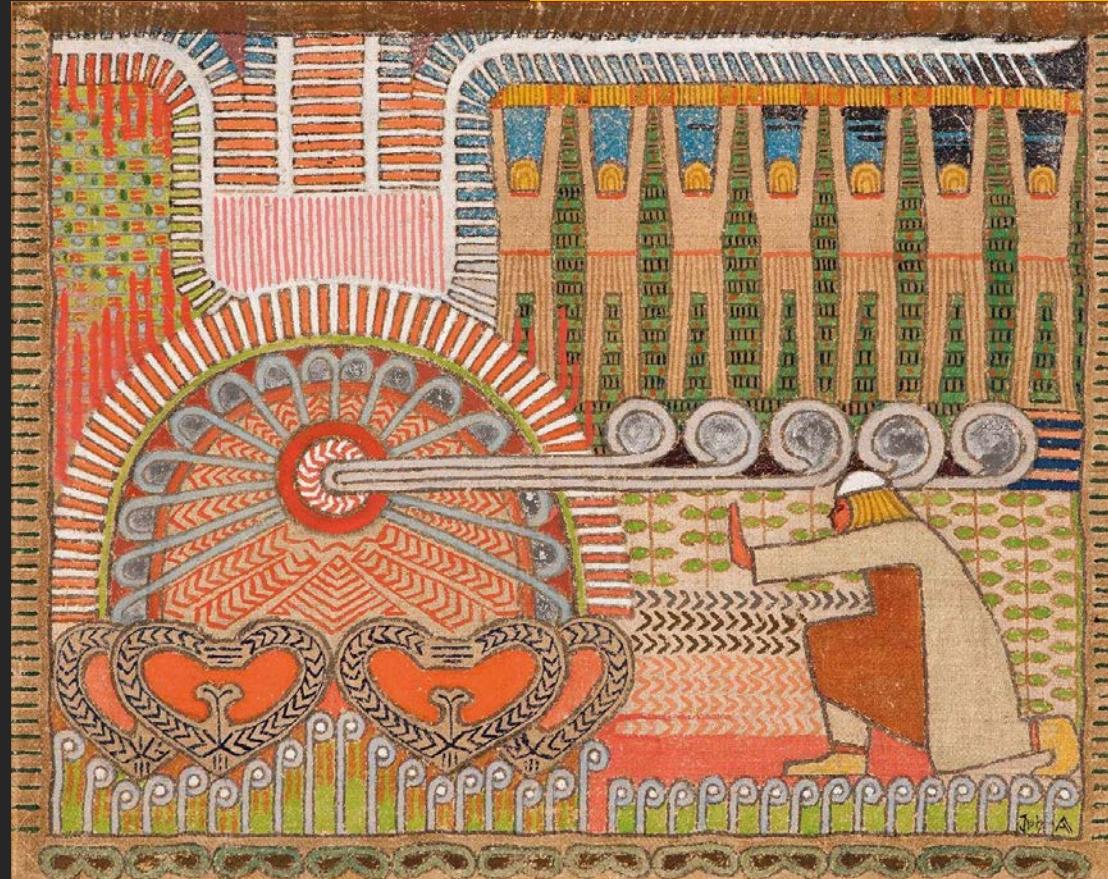
映像作品からスピーカー、什器、建築空間まで、
あらゆる解像度の次元を横断しながら、
人々の営みに関わる多様なモノ・コト・トキ
を創出するクリエイティブチームです。

What's “SAMPO” ?

“SAMPO” はフィンランド神話に登場する神器の名前です。

その神器は、人々が小麦を望めば小麦を塩を望めば塩を、金を望めば金を生み出したと言います。

わたしたち SAMPO Inc.は
『時代や社会が潜在的に望むもの』
を生み出し続けます。



The Forging of the Sampo, Joseph Alanen, 1910–1911

Strengths

i Stylish Imagination

入念なリサーチと子どもの空想力を掛け合わせ、人々を「あっ！」と驚かせます

ii Stylish Material

古物を取り扱う中で培った慧眼で、あらゆる時代と国の素材をセレクトします

iii Stylish Technique

大工や機械設備に精通した技を活かし、唯一無二の作品をカタチにします

02

Archives

MoC / HoC

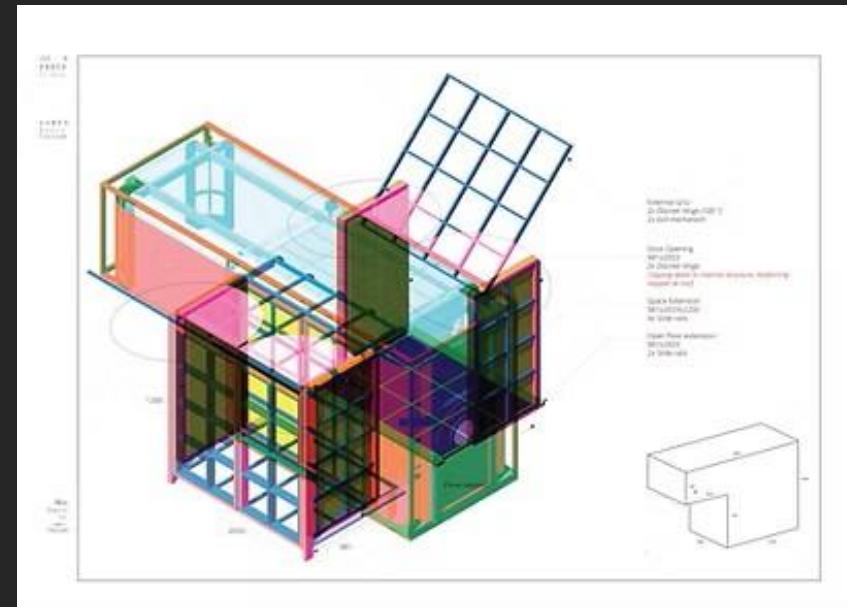
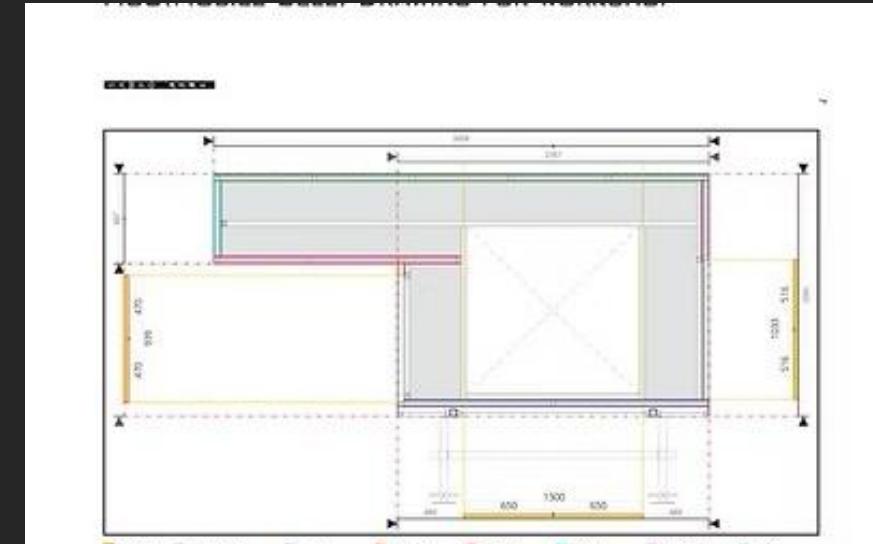
Mobile Cell / House Core

「MoC（モック）」とは軽トラの荷台に乗せて移動できる二畳ほどの可動産空間のこと。MoCには原則キッチン、ダイニング、リビング、トイレ、バスルームといったインフラがないため、これを補完する「HoC（ホック）」という不動産のシェアハウスを設ける。ユーザーがMoCを持ち寄ってHoCに接続することで、豊かなインフラを共有する“部屋持ち寄り型シェアハウス”的暮らしを提案。

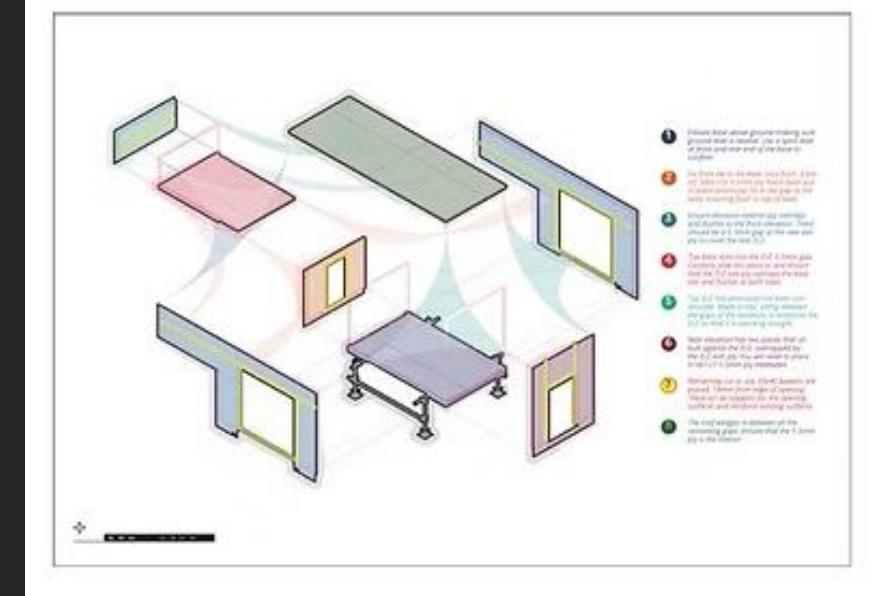


MoC / HoC

Mobile Cell / House Core



「MoC（モック）」とは軽トラの荷台に乗せて移動できる二畳ほどの可動産空間のこと。MoCには原則キッチン、ダイニング、リビング、トイレ、バスルームといったインフラがないため、これを補完する「HoC（ホック）」という不動産のシェアハウスを設ける。ユーザーがMoCを持ち寄ってHoCに接続することで、豊かなインフラを共有する“部屋持ち寄り型シェアハウス”的暮らしを提案。



MoC / HoC

Mobile Cell / House Core



「MoC（モック）」とは軽トラの荷台に乗せて移動できる二畳ほどの可動産空間のこと。MoCには原則キッチン、ダイニング、リビング、トイレ、バスルームといったインフラがないため、これを補完する「HoC（ホック）」という不動産のシェアハウスを設ける。ユーザーがMoCを持ち寄ってHoCに接続することで、豊かなインフラを共有する“部屋持ち寄り型シェアハウス”的暮らしを提案。

MoC / HoC

Mobile Cell / House Core

「MoC（モック）」とは軽トラの荷台に乗せて移動できる二畳ほどの可動産空間のこと。MoCには原則キッチン、ダイニング、リビング、トイレ、バスルームといったインフラがないため、これを補完する「HoC（ホック）」という不動産のシェアハウスを設ける。ユーザーがMoCを持ち寄ってHoCに接続することで、豊かなインフラを共有する“部屋持ち寄り型シェアハウス”的暮らしを提案。



MoC / HoC

Mobile Cell / House Core

「MoC（モック）」とは軽トラの荷台に乗せて移動できる二畳ほどの可動産空間のこと。MoCには原則キッチン、ダイニング、リビング、トイレ、バスルームといったインフラがないため、これを補完する「HoC（ホック）」という不動産のシェアハウスを設ける。ユーザーがMoCを持ち寄ってHoCに接続することで、豊かなインフラを共有する“部屋持ち寄り型シェアハウス”的暮らしを提案。



MoC / HoC

Mobile Cell / House Core



「MoC（モック）」とは軽トラの荷台に乗せて移動できる二畳ほどの可動産空間のこと。MoCには原則キッチン、ダイニング、リビング、トイレ、バスルームといったインフラがないため、これを補完する「HoC（ホック）」という不動産のシェアハウスを設ける。ユーザーがMoCを持ち寄ってHoCに接続することで、豊かなインフラを共有する“部屋持ち寄り型シェアハウス”の暮らしを提案。

Aura

Nissan Motor Co., Ltd.



NISSANと共にモバイルハウスを制作し、未来の豊かな暮らし方を共創したプロジェクト。SAMPOが思い描く理想のライフスタイルをNISSANと共有しながら、両者で全く新しいモバイルハウスと、そこでの暮らし方を追求し、実際に東京に住む方の「生き方をまるごと、自由に持ち運ぶ」暮らしを実現。制作した作品にはNISSANのバッテリーや研究中のアイデアを採用し、役目を終えた自動車部品などを再利用した。作品はJapan Mobility Show 2023にも出展。



TSUKIJI RADIO

Audio-Technica Corporation



オーディオテクニカ主催のイベント『Analog Market 2025』のメインコンテンツとなる移動型DJブースをデザイン・制作したプロジェクト。本イベントが築地本願寺で行われることから、かつて築地市場のアイコンだったターレットトラックをDJブースに改造。



阿・吽

Takenaka Corporation



2025年大阪・関西万博の水上海上に浮かべる海床（うみどこ）ロボット（環境配慮型の都市型自動運転船）の上部オブジェとして制作した彫刻作品。宇宙の呼吸・生命の循環の象徴として、「始まり」を意味する「阿（あ）」と、「終わり」を表す「吽（うん）」2つの作品を制作。自然の風を受けて穏やかに水面をたゆたいながら、生成から崩壊へ、そして再び生成へという宇宙そのものの呼吸、また、うねるような螺旋的な循環を表現。



Ethical Classmate

Sekisui House, Ltd.



環境に配慮した積水ハウスの住空間に7日間滞在し、自分も地球も豊かになる「エシカル・ライフハック」をデザインするプロジェクト。「空間づくり」「食生活」「ライフスタイル」をテーマに、環境問題に関する有識者とも協力しながら暮らしのアイデアを考案。



Non Standard Christmas Tree

Laforet HARAJUKU



ラフォーレ原宿のエントランス広場にクリスマスツリーを作成し、クリスマスイベントを行ったプロジェクト。「新品 = Standard」ではなく「廃材 = Non Standard」を使用することで、大量消費社会における新たな価値創造の手法をクリスマスツリーというオブジェで表現した。古着などのマーケットや、DJ・シンガーによる音楽イベントも企画・開催。



KEIRO

Mitsui Fudosan Co., Ltd.



再開発前のタネ地を有効活用し、街の人々や観光客らがアーティスト・作家と交流しながらアートに触れられる都市のコミュニティリビングを設計・施工したプロジェクト。変幻自在面材“ATOMA”を開発し、それらを活用した空間設計とすることで、3ヵ月の運営期間中に計4回の舞台転換を可能に。会場の運営、イベントの企画・実施も担当。



AUDACITY

MISTLETOE SINGAPORE PTE. LTD.



MISTLETOE



革新技術を活用し、人類のウェルビングを取り戻すことを提示した、シンガポールでの都市型リノベーションプロジェクト。約500m²の工場空間を舞台に、グラフィック、空間デザイン、アーティスト活動を横断しながら、常識にとらわれない豊かな都市生活のあり方を表現した。

Deep Listening Room

Audio-Technica Corporation



オーディオテクニカ様主催のイベント『Analog Market 2023』のメインブースをデザイン・施工したプロジェクト。
「出会いの時間と場所を想起させる映画のセット」をコンセプトに、国も時代も異なるアンティークを組み合わせて、
訪れる人々の聴覚と嗅覚を刺激し、音と香りの世界に没入
できる5つの空間をデザイン。



HIGH SENSE TECHNOLOGY

Tokyo Tatemono Co., Ltd.



東京・京橋の元弁護士事務所をスタートアップ企業のシェアオフィスにリノベーションしたプロジェクト。カウンター内の“オブジェが動く”ジオラマには、国も時代も異なる古物をコラージュし、スタートアップの「冒険心」を表現した。



reEDOcate Me!

Goethe-Institut Tokyo



江戸のライフスタイルや価値観を、これからの世界にどのように活かしていくかを議論するシンポジウム。東京のドイツ文化センター（ドイツ外務省）を会場に、ベルリンと中継をつないで実施。会場には江戸時代の長屋建築を現代的に再構築し、寺子屋のように先生と生徒が同じ目線で対話できる学習空間や、お茶や食事を楽しめる茶室空間を設えた。

